

# 「遷延性（せんえんせい）意識障がい」にある方々の調査結果について

大分県福祉保健部障害福祉課

## 【結果概要】

- 人 数 1,077名
- 性 別 男性326名 女性751名
- 年 齢 60歳以上の方が1,017名（全体の9割超）、80歳以上でも763名（約7割）であるなど、そのほとんどが高齢者であることがわかった。
- 市町村 大分市が252名と最も多く、次いで別府市が170名となっており、2市で全体の約4割を占めている。
- 所 在 病院が最も多く444名、次いで介護老人福祉施設が356名、介護老人保健施設が154名であった。一方、在宅の方は38名となっている。
- 発症の  
原因 脳血管疾患が最も多く552名で全体の過半数を占めており、次いで認知症が191名となっている。
- 医療的  
ケア 経管栄養（経鼻・胃ろう含む）が788名で最も多く、次いでたん吸引が730名であった（複数回答含む）

## 【調査方法等】

- 調査期間 ①令和元年7月5日～7月31日 ②8月27日～9月6日（再依頼）
- 調査方法 メール又はFAXで依頼（回答は簡易申請システム利用）
- 調査対象 県内の障害者支援施設や病院、介護老人福祉施設等の介護施設、訪問看護ステーション等 1,173か所
- 回 答 数 302か所（回答率25.7%）
- 回答数が少なかった主な理由
  - ①明らかに該当者なしと思われる施設や病院等にも調査を依頼したこと（例：知的障がい中心の施設や診療科目が眼科・胃腸科等の病院 等）
  - ②該当者がいない施設等からの回答が期待できないこと